東京都健康安全研究センター委託調査

「新しい日常」での食中毒予防に関する 実態調査報告書

令和3年3月

目 次

	I	調	查概要	
		1	調査目的	1
		2	調査内容	1
			elien alle de seus arresses au publication l'arrel peut des librations de la comme de la comme de la comme de La la comme de	
	ΙI	訓]査結果のポイント	3
		1	グループインタビューの結果	3
		2	インターネットアンケート調査の結果	4
	Ш	グ	`ループインタビューの結果	8
		1	「新しい日常」での食生活の変化、食の安全で気をつけていること	8
		2	テイクアウトの利用	9
		3	出前・デリバリーの利用	11
		4	在宅時間の増加に伴い自宅での調理機会が増えた食品(おつまみ、保存のきく	
			食品等)	13
		5	食品(食材含む)の購入	15
]	V	1	ンターネットアンケート調査の結果	16
		1	「新しい日常」における自宅での調理状況	16
		2	健康面で普段から気をつかっていること	18
		3	普段の調理や食事で気をつかっていること	20
		4	食中毒予防の取組・心掛け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	22
		5	食中毒に対する認識・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	24
		6	在宅時間が増えたことを機に挑戦した料理	26
		7	「新しい日常」における食品・サービスの利用状況	30
		8	「新しい日常」における食品・サービスの利用に係る食品衛生上の心配、問題	
			があった経験	36
		9	マイバッグの使用等で気をつけていること	37
		10	普段冷蔵庫に入っている食品の量	39
		11	「新しい日常」における自宅での調理状況(数日で食べきるおかず、保存のき	
			く食品、「家飲み」用のおつまみ類について)	40

12	「新しい日常」における料理のレパートリーの変化(数日で食べきるおかず、	
	保存のきく食品、「家飲み」用のおつまみ類について)	47
13	「新しい日常」における自宅調理に係る食品衛生上の心配、問題があった経験	
	(数日で食べきるおかず、保存のきく食品、「家飲み」用のおつまみ類について)
		48
14	インターネットを利用した食品の購入状況	50
15	インターネットを利用した食品の購入に係る食品衛生上の心配、問題があった	
	経験	54
16	凍結流通する食肉調理品(冷凍メンチカツ等)の自宅調理	55
17	健康食品の使用状況	61
18	健康食品の使用による体調不良の経験	62

本報告書では、細菌、ウイルス、寄生虫等、食中毒を起こす微生物を「菌」と表現しています。

I 調査概要

1 調查目的

食に関する「新しい日常」として、マスメディアでは「おうち料理」特集が散見され、テイクアウトやデリバリーの利用増加が報じられるなど、都民の食生活に変化が生じていることがうかがわれる。そこで、家庭等における食中毒予防について、「新しい日常」に即した的確な情報発信を行っていくため、「新しい日常」での食生活の変化及びこれに伴う食中毒リスクの把握を目的とした実態調査を実施した。

2 調査内容

(1)グループインタビュー調査

ア 目 的 「新しい日常」における食生活の変化、食品衛生上心配なこと、食中毒予防 の取組等について、具体的、定性的に把握する。

イ調査日 2020年12月13日(日曜日)

ウ 対 象 者 20歳~79歳の都内在住者

エ 調査方法 調査協力会社に登録しているモニターから、各年代の性別比が可能な限り 同数となるよう対象者を抽出して調査を実施した。

オ グループ構成 表 1-1 のとおり

表 1-1. グループの構成

The second secon			
3グループ	男性	女性	計
G1:20 代 30 代グループ	0名	6 名	6 名
G2:40 代 50 代グループ	3名	3名	6 名
G3:60 代 70 代グループ	3 名	3 名	6 名
計	6名	12 名	18名

(2)インターネットアンケート調査

ア 目 的 都民全体を対象に、「新しい日常」における食生活の変化、食品衛生上心配なこと、食中毒予防の取組等について、定量的に把握する。

イ 調査期間 2021年1月18日(月曜日)~19日(火曜日)

ウ 対象者 20歳~79歳の都内在住者

エ 調査方法 調査協力会社に登録しているモニターを対象として調査を実施した。なお、対象者については、各性年代の特徴を把握するため、回答数が表 1-2 の割合で得られるよう割付したが、その他の要素については、恣意的にならないよう選定した。

才 回 答 数 3,000

カ 回答者の属性 以下のとおり

表 1-2. 回答者の属性(性・年代)

					하는 경기에게 하는데 이 보다.		
	20 代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
男性	225	300	330	240	225	180	1500
カほ	15.0%	20.0%	22.0%	16.0%	15.0%	12.0%	100.0%
女性	225	300	330	240	225	180	1500
女任	15.0%	20.0%	22.0%	16.0%	15.0%	12.0%	100.0%
合計	450	600	660	480	450	360	3,000
	15.0%	20.0%	22.0%	16.0%	15.0%	12.0%	100.0%

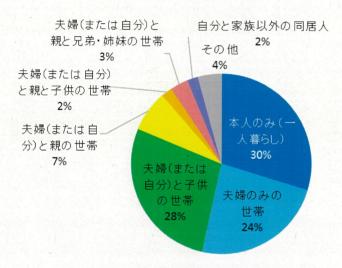


図1-1 回答者の属性(世帯構成)(N=3,000)

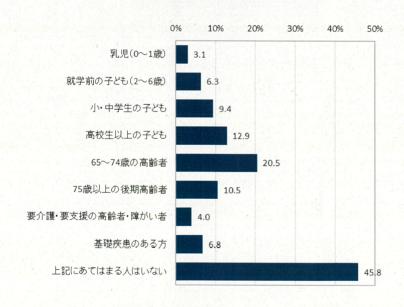


図1-2 回答者の属性(同居人の状況)(N=3,000)

4 食中毒予防の取組・心掛け

- 食中毒予防のために取り組んでいることとして、最も実施率が高いのは、「トイレの後に手 洗いをする」で 61.1%。
- 性別にみると、選択肢にある取組の全てで女性の方が実施率が高かった。
- 年代別では、年代が上がるほど、「特にない」の割合が低くなる傾向があった。
- 全ての取組について、調理頻度が、「もともと週に1回以上の人」、「前回の緊急事態宣言 以降、週に1日以上に増加した人」、「期間を通じて月に数日以下の人」の順で実施率が 低くなる傾向があった。

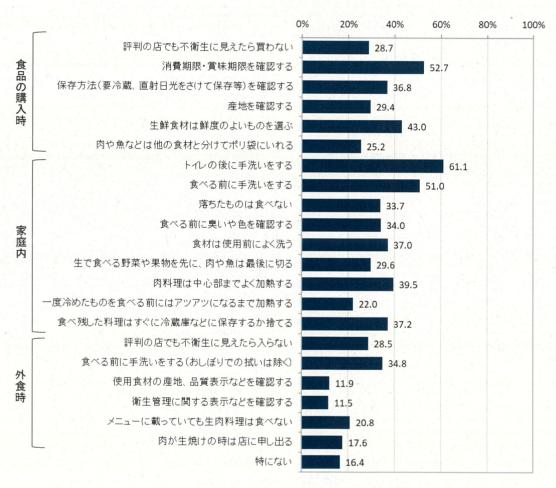


図 4-4 食中毒予防の取組・心掛け(N=3,000)

表 4-4-1 食中毒予防の取組・心掛け(性・年代・性年代別)(%)

			食品の購入時						家庭内							外食時					特			
		n	買わない部判の店でも不衛生に見えたら	消費期限・賞味期限を確認する	さけて保存等)を確認する保存方法(要冷蔵、直射日光を	産地を確認する	と鮮食材は鮮度のよいものを選	ポリ袋にいれる肉や魚などは他の食材と分けて	トイレの後に手洗いをする	食べる前に手洗いをする	落ちたものは食べない	食べる前に臭いや色を確認する	食材は使用前によく洗う	肉や魚は最後に切る生で食べる野菜や果物を先に、	肉料理は中心部までよく加熱す	アツアツになるまで加熱する一度冷めたものを食べる前には	などに保存するか捨てる食べ残した料理はすぐに冷蔵庫	入らない評判の店でも不衛生に見えたら	ぼりでの拭いは除く)食べる前に手洗いをする(お-	を確認する使用食材の産地、品質表示など	認する衛生管理に関する表示などを確	理は食べないメニューに載っていても生肉料	肉が生焼けの時は店に申し出る	にない
	全体	3,000	28. 7	52. 7	36.8	29. 4	43. 0	25. 2	61.1	51.0	33. 7	34. 0	37. 0	29. 6	39. 5	22. 0	37. 2	28. 5	34. 8	11. 9	11.5	20. 8	17. 6	16. 4
性	男性	1,500	20. 3	42.7	25. 9	20. 2	32.0	14.6	52. 1	43. 4	27.7	25. 3	24.7	17.3	26. 0	14.1	25. 3	23. 1	29. 0	8.5	9.4	15. 6	11. 9	22. 1
別	女性	1,500	37.0	62. 7	47.7	38.5	54. 1	35. 9	70.1	58. 6	39.8	42. 8	49.3	41.8	53, 1	30.0	49.1	34. 0	40. 7	15.3	13. 6	25. 9	23. 2	10. 7
	20代	450	23. 1	40. 9	24.7	18.0	23. 3	15. 3	40. 2	34. 9	25. 3	24. 9	27. 6	20.0	28. 2	15. 6	23. 8	19. 1	26. 7	9.1	9.6	13.8	13. 8	26. 9
	30代	600	26. 7	45. 5	31.0	24. 3	33. 0	19.7	53. 3	47.7	31.3	33. 7	33. 5	26.8	36. 5	20. 5	31.5	23. 5	33. 5	9.5	8.5	14.5	15. 3	20. 2
年	40代	660	27. 6	50.6	32. 9	26. 4	39. 7	20.8	61.4	52. 4	33. 9	30. 2	36. 1	28. 3	37. 9	22. 7	36. 2	27. 3	34. 8	11. 2	10. 5	16.8	16. 5	17. 0
代	50代	480	29. 0	55. 4	36. 9	31.3	46. 7	25. 4	65.0	55. 2	33. 1	36. 7	32. 9	31.9	40.8	22. 3	36. 5	29. 2	38. 5	11.9	12.1	21.7	18. 5	15. 4
	60代	450	33. 1	63. 1	48. 0	35. 1	58.4	32.7	72.7	56.0	36. 7	37. 3	45.1	34. 4	45. 1	25. 6	46. 9	36. 2	37. 1	12. 2	13. 3	28. 7	20. 9	9.3
	70代	360	35. 0	66. 4	54. 4	47.8	66.4	45. 6	80.0	62. 2	45.0	45. 6	51.7	39. 2	53. 1	26. 7	53. 9	40.6	39. 4	20.6	17. 8	36. 1	22. 5	5.8
	男性20代	225	17.8	32. 0	19.1	13.3	18.7	11.6	32. 4	28. 9	22. 2	19.1	20.9	16.9	21.3	12.0	17.3	15. 1	21.8	9.8	8.0	12.4	11.6	33. 8
-	男性30代	300	18. 7	34. 3	20.0	17.3	23. 7	12.3	42.0	41.0	27. 3	26. 0	21.0	17.7	25. 3	12.7	22. 3	17. 0	27. 7	6.7	7.0	10.7	11: 7	27. 3
	男性40代	330	19.1	42. 1	23. 3	18. 2	26. 7	11.2	51. 2	43.6	27. 0	20.6	23. 3	14. 2	22.7	13. 6	22. 1	22. 1	28. 8	7.6	9.4	10.6	10.6	22. 4
- 1	男性50代	240	16.7	39.6	21.7	15. 4	28. 8	9.2	54. 6	44. 6	23. 3	25. 4	17.5	15.0	24. 6	12.5	22. 5	21.7	28. 3	6.3	7. 1	14. 6	10.0	22. 9
44	男性60代	225	27. 6	57. 8	35. 1	26. 7	48. 4	18. 7	66. 2	45.8	29.8	28. 0	34. 7	20.0	29.3	17. 3	34. 2	32. 4	32. 0	8.9	12.0	24. 0	14. 2	12. 4
在	男性70代	180	24. 4	56. 1	42. 8	35. 6	56. 1	30. 6	73. 9	60.6	39. 4	36. 7	35. 0	22. 8	36. 7	17.8	38. 3	35. 0	37. 8	14. 4	15.0	27.8	15. 0	8.9
代	女性20代	225	28. 4	49.8	30. 2	22. 7	28. 0	19. 1	48. 0	40. 9	28. 4	30. 7	34. 2	23. 1	35. 1	19.1	30. 2	23. 1	31.6	8.4	11.1	15.1	16. 0	20.0
	女性30代	300	34. 7	56. 7	42. 0	31.3	42. 3	27. 0	64. 7	54. 3	35. 3	41.3	46. 0	36. 0	47. 7	28. 3	40. 7	30.0	39. 3	12. 3	10.0	18. 3	19.0	13.0
	女性40代	330	36. 1	59. 1	42. 4	34. 5	52. 7	30. 3	71.5	61.2	40. 9	39. 7	48. 8	42. 4	53.0	31. 8	50. 3	32. 4	40. 9	14. 8	11.5	23. 0	22. 4	11.5
-	女性50代	240	41.3	71.3	52. 1	47. 1	64. 6	41. 7	75. 4	65. 8	42. 9	47. 9	48. 3	48. 8	57. 1	32. 1	50. 4	36. 7	48. 8	17. 5	17. 1	28. 8	27. 1	7.9
-	女性60代	225	38. 7	68. 4	60. 9	43. 6	68. 4	46. 7	79. 1	66. 2	43. 6	46. 7	55. 6	48. 9	60. 9	33. 8	59. 6	40. 0	42. 2	15. 6	14. 7	33. 3	27. 6	6. 2
	女性70代	180	45. 6	76.7	66. 1	60.0	76. 7	60.6	86. 1	63. 9	50.6	54. 4	68. 3	55. 6	69. 4	35. 6	69. 4	46. 1	41. 1	26.7	20. 6	44. 4	30.0	2.8

赤セル:全体+10ポイント以上、青セル:全体-10ポイント以下

表 4-4-2 食中毒予防の取組・心掛けと調理頻度の増加状況との関係(%)

		もともと週に1 回以上	前回緊急事態宣 言以降、週に1 日以上に増加	期間を通して月に数日以下
		n=2, 178	n=89	n=733
	評判の店でも不衛生に見えたら買わない	34. 7	24. 7	11.3
食品	消費期限・賞味期限を確認する	60.5	57.3	28. 8
の	保存方法(要冷蔵、直射日光をさけて保存等)を確認する	43.7	38. 2	16.1
購	産地を確認する	35. 7	27. 0	10.9
入時	生鮮食材は鮮度のよいものを選ぶ	51.9	29. 2	18. 4
Hi	肉や魚などは他の食材と分けてポリ袋にいれる	31.6	18.0	7. 1
	トイレの後に手洗いをする	68.5	58. 4	39.3
	食べる前に手洗いをする	57.8	43.8	31.7
	落ちたものは食べない	37. 8	31.5	22. 0
家	食べる前に臭いや色を確認する	40. 7	29. 2	14. 7
庭	食材は使用前によく洗う	44. 9	34. 8	13.9
内	生で食べる野菜や果物を先に、肉や魚は最後に切る	37. 6	33. 7	5. 3
	肉料理は中心部までよく加熱する	48. 8	30.3	13. 2
	一度冷めたものを食べる前にはアツアツになるまで加熱する	27. 0	22. 5	7. 4
	食べ残した料理はすぐに冷蔵庫などに保存するか捨てる	44. 5	30.3	16. 2
	評判の店でも不衛生に見えたら入らない	34. 1	23. 6	12. 7
	食べる前に手洗いをする(おしぼりでの拭いは除く)	40. 4	34. 8	18. 1
外會	使用食材の産地、品質表示などを確認する	14. 8	10.1	3. 5
食時	衛生管理に関する表示などを確認する	14. 0	7. 9	4. 6
	メニューに載っていても生肉料理は食べない	24. 9	12. 4	9. 4
	肉が生焼けの時は店に申し出る	21. 2	14. 6	7. 1
	特にない	9. 0	9. 0	39.0

色付きセル:上位3項目